

事業報告書

1. 事業経営戦略

平成 28 年度は、法人本部では大磯町より公立国府幼稚園の民間移管の公募が有り、認定こども園として平成 30 年度より運営受託に成功し、保育事業拡大に成功いたしました。また、平塚市より委託事業として受託した富士見地区の地域包括支援センターの開所準備を円滑に進め、平成 29 年 4 月 1 日より運営を開始しております。

介護事業部門においては、介護保険制度の大幅な変更から 2 年目を迎え、より施設介護から在宅介護へ、軽度介護から重度介護へと介護保険収入の比重が厚くなる中、安定した収入を確保するべく「サンレジデンス湘南」（指定介護福祉施設）の稼働率向上、各部門間の連携強化、「サンステージ湘南」（ケアハウス）は常に 100%の稼働率維持を目標に実施して参りました。また、ご利用者様の重度化が進む中、安全を確保し更なるサービスの向上を目指し、人員の補強と教育を徹底いたしました。

保育事業部門においては、全園で待機児童解消のため定員枠までの園児獲得は当然のことながら、増加傾向にある重度のアレルギー、虐待児童への対応など子育て支援を通しての社会貢献を遂行し、また学童保育所 3 園の安定した運営、そして、平塚市より民間移管先として引き継いだ「サンキッズ金田ほいくえん」の開園を円滑に行い、事業拡大の基盤を築いて参りました。

両部門とも地域密着の生活支援事業者として、更なるサービス向上及び行政からの情報に常に目を向け、更なる拡大の基盤整備を実施いたしました。

2. 平成 28 年度の主な事業報告

介護事業部門では「介護老人福祉施設」の稼働は、年間延べ利用人数 30,021 名（対前年+310 名）、「指定短期入所者生活介護事業」においては延べ利用人数が 5,235 名（対前年-146 名）となり短期入所を含めた施設全体のベッド稼働率は 96.3%（前年比+0.2%）となりました。また、「サンステージ湘南」ではケアハウスの入居が平成 28 年 4 月は 29 名 29 室と稼働率 100%でスタートいたしましたが、11 月に 3 名の死亡による退去があり 26 名まで減少し、稼働率が 89.6%まで落ち込みました。即待機者や紹介事業者、各居宅事業所へのご案内による営業活動を実施し、3 月末で 27 名の入居状況となっております。現在 6 月入居で 2 名様のご契約をいただいておりますので、6 月中には 100%の稼働に回復いたします。

また、保育事業部門においては、4 保育園全体の定員数は 430 名となっており、平成 29 年 3 月 31 日現在の 4 園合計園児数は 508 名（定員比率 118%）となっております。

収支状況は法人全体としては、事業活動収入 1,627,996 千円（前年比+14.0%）、事業活動支出 1,435,822 千円（前年比+10.5%）、事業活動収支差額 191,443 千円（前年比+40.9%）、次期繰越活動収支差額 1,997,376 千円（前年比+8.8%）となりました。また、法人全体の現預金残高は、710,829 千円（前年比+18.3%）となり、別途積立金等として 160,500 千円（前年比+20.2%）を留保する結果となりました。

法人本部

法人本部では、各施設の換算基準及び収入の加算基準を満たす有資格者の人材確保、保育を中心とした法人規模の拡充、寄付金の確保を実施して参りました。「サンキッズ金田ほいくえん」の開園準備を円滑に行い、順調に4月1日より運営を開始することが出来ました。また平塚市からの一般募集にて平塚市の富士見地区包括支援センター委託業務を獲得しており、平成29年4月1日開所に向け準備を円滑に進め、営業エリアの拡充に努めて参りました。一方、寄付金は1件で2,000万円を超える多額の寄付金をいただくことができ、年間合計23,144,567円となり前年に+22,557,567円となりました。今後も1件の大口に頼らず安定的に寄付をいただけるよう、寄付金控除対象の法人であることをご説明し、平成28年度の課題事項として寄附金の獲得に努めて参ります。

(ア) 社会福祉事業

① 特別養護老人ホーム サンレジデンス湘南

指定介護福祉施設では、延べ利用人数30,021名(対前年+310名)となり稼働率96.6%(前年比+2.2%)となりました。尚、退去者は15名(対前年△3名)、また、入院をされたお客様は39名(対前年△4名)でございました。特養の稼働率アップは平成27年度からの最重要課題事項でありましたが、入居相談業務を1名増員し毎月待機者の棚卸しを実施し常に実質待機者を把握することにより、順番上位の待機者へ入居の準備を促し、短期入所から本入居への流れをシステム化したことの効果が表れました。尚、平成29年3月31日現在の入所待機者は127名となっております。

入居者の介護度は、平成29年3月31日時点で介護度1:6名、介護度2:10名、介護度3:16名、介護度4:21名、介護度5:31名となり、平均介護度3.73(平成27年度3.83、平成26年度3.75)となっております。平成28年度は退去者15名の内介護度3が3名、介護度4が6名、介護度5が6名と重介護者が全体の8割を占め、また平成28年度の入居者の内3名が介護度1の行政から依頼を受けた特例入居だったこともあり平均介護度は下がっております。しかしながら、現状では入居対象者が介護度3以上となり、今後一層入居者の重度化が進むことが予想され、入院、死亡の増加が見込まれます。常に待機者の状況把握と各居宅事業所との連絡を密に取り合いショートステイのスポット利用を促進し稼働維持に努めて参ります。

入居者の重度化が進み、各フロアの介護サービス対応に人手がかかるようになり、介護スタッフ4名を増員し事故防止及びサービス向上に努めて参りました。また平成29年4月に開所した富士見地区包括支援センターの引き継ぎスタッフ3名を研修で受入れたことが人件費増の大きな要因となっております。

事業活動による収支では、事業活動収入365,044千円(前年比+2.9%)、事業活動支出383,292千円(前年比+6.7%)、事業活動収支差額△18,248千円(対前年△13,877千円)となりました。

② 老人居宅介護等事業（指定訪問介護事業）

訪問介護に関しては、ヘルパーの増員と居宅事業所への積極的な営業活動により延べ件数 6,315 件（対前年+164 件）と前年度に 2.6%増加いたしました。今後も登録ヘルパーの確保に努めて参ります。

事業活動による収支では事業活動収入 21,656 千円（前年比+0.4%）、事業活動支出 14,814 千円（前年比+5.6%）、事業活動収支差額 6,842 千円（前年比△9.2%）となりました。

③ 障害福祉サービス事業（重度訪問介護・同行支援）

平成 26 年度より取り組みを開始いたしました重度訪問介護・同行支援に関しては延べ件数 439 件（対前年△37 件）となりました。

事業活動による収支では、事業活動収入 1,391 千円（前年比+0.2%）、事業活動支出 5,729 千円（前年比+0.3%）、事業活動収支差額△4,338 千円（対前年△15 千円）となりました。

④ 老人デイサービス事業（サンレジデンス湘南）

通所介護は平塚市内で約 80 カ所あり、年々ご利用者の獲得が激化する中、レクリエーションの見直し、居宅事業所への積極的な営業活動を行って参りましたが、ご利用者の施設入居による終了や体調不良による入院などが多く発生し、延べ利用人数 9,469 名（対前年△754 名）とご利用者が大きく減少しました。各居宅事業所への営業活動の効果が表れ、新規登録者の獲得に成功し平成 29 年 3 月よりは前年を上回る数のご利用者をいただいております。

事業活動による収支では事業活動収入 92,353 千円（前年比△10.1%）、事業活動支出 79,281 千円（前年比+0.1%）、事業活動収支差額 13,072 千円（前年比△44.7%）となりました。

⑤ 老人短期入所事業（指定短期入所生活介護事業）

短期入所生活介護に関しては、指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）における入院及び退去に伴う空床ベッドを積極的に転換利用して参りましたが、平成 28 年度は入院、退去が減少し稼働率が常に 100%であった為、ご利用できるベッド数が減少し延べ利用人数 5,235 名（対前年△146 名）となりました。

事業活動による収支では、事業活動収入 62,654 千円（前年比△1.7%）、事業活動支出 20,081 千円（前年比△1.9%）、事業活動収支差額 42,572 千円（前年比△1.6%）となりました。

⑥ 指定居宅介護支援事業（サンレジデンス湘南）

人員が1名減となり平成28年度は延べ利用人数1,909名（対前年△176名）となりました。しかしながら、法人内サービスへの送客率は前年の47.2%から52.3%となり、法人内への収入増に貢献しております。

事業活動による収支では事業活動収入33,686千円（前年比△7.7%）、事業活動支出24,086千円（前年比△16.1%）、事業活動収支差額9,599千円（前年比+22.8%）となりました。

⑦ 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターに関しては、平塚市よりの委託事業として、予防介護支援を主とした地域活動を行い、延べ利用人数1,941名（対前年+156名）となりました。富士見地区包括支援センターのスタッフを受け入れ、1年間研修として業務指導を行い事業エリア拡大に貢献いたしました。

事業活動による収支では、事業活動収入43,131千円（前年比+32.7%）、事業活動支出29,055千円（前年比+23.5%）、事業活動収支差額14,075千円（前年比+54.9%）となりました。

⑧ ケアハウス事業

サンステージ湘南ケアハウスでは、平成28年度4月は入居者29名稼働率100%で年間稼働を通年で100%を目指しましたが、年間で5名の退去者が有り、新規入居は3名でしたので年度末の時点では27名の入居者となりました。年間を通して平均稼働率96.8%（対前年-2.8%）と高稼働は維持出来ましたが前年に未達となり、延べ利用者人数9,965名（対前年△180名）となりました。

事業活動による収支では事業活動収入137,765千円（前年比+0.6%）、事業活動支出129,951千円（前年比+0.6%）、事業活動収支差額7,813千円（前年比+0.5%）となりました。

⑨ 老人デイサービス事業（サンステージ湘南）

サンステージ湘南デイサービスでは、送迎エリアを広げ新規のご利用者の獲得に努め積極的な営業活動による登録者の獲得と直前のキャンセル時のスポット利用を継続し、延べ利用人数11,697名（対前年△80名）となりました。

事業活動による収支では事業活動収入115,058千円（前年比△0.2%）、事業活動支出108,008千円（前年比+6.7%）、事業活動収支差額7,050千円（前年比△50.3%）となりました。

⑩ 指定居宅介護支援事業（サンステージ湘南）

サンステージ湘南居宅介護支援では延べ利用人数 407 名（対前年△63 名）となりました。

事業活動による収支では、事業活動収入 5,296 千円（前年比△12.6%）、事業活動支出 4,657 千円（前年比+1.9%）、事業活動収支差 639 千円（前年比△57.2%）となりました。

⑪ 認可保育園サン・キッズ湘南（保育運営）

平成 28 年度は、年間平均在籍園児は 118.1 名（対前年△2.5 名）となりましたが、常に定員枠を超える園児数となっております。また、特別保育事業として実施する一時保育（休日保育含む）は延べ 1,954 名（対前年+232 名）のご利用をいただき結果となりました。

事業活動による収支では事業活動収入 164,712 千円（前年比△3.5%）、事業活動支出 128,840 千円（前年比△3.1%）、事業活動収支差額 35,872 千円（前年比△5.1%）となりました。

⑫ サン・キッズ湘南学童保育室（放課後児童健全育成事業）

サン・キッズ湘南学童保育室は、平成 28 年度の年間平均在籍児童数は 46.0 名（対前年+2.6 名）となりました。平塚市内学童保育室でも稀な、お迎え付きの 365 日利用が可能な学童保育室として営業活動を積極的に行い、安定したご利用をいただいております。

事業活動による収支では、事業活動収入 15,401 千円（前年比+5.9%）、事業活動支出 13,344 千円（前年比△6.7%）、事業活動収支差額 2,057 千円（前年比+914%）となりました。

⑬ サン・キッズ湘南学童第二保育室（放課後児童健全育成事業）

平成 27 年度より新設されましたサン・キッズ湘南第二学童保育室は、平成 28 年度の年間平均在籍児童数は 22.3 名（対前年△3.8 名）となっております。昨今では高学年になっても学童保育を退園されない児童が増え、学童保育所の待機児童が増える中、近隣の松原小学校の児童の受け皿として平塚市からも評価をいただいております。

事業活動による収支では、事業活動収入 8,907 千円（前年比△15.7%）、事業活動支出 7,582 千円（前年比△15.1%）、事業活動収支差額 1,325 千円（前年比△18.9%）となりました。

⑭ 認可保育園サンキッズ大磯（保育運営事業）

定員が90名より120名となり3年目となりましたが、平成28年度は、年間平均在籍園児は135.5名（対前年+0.8名）となりました。また特別保育事業として実施する一時保育（休日保育含む）は延べ1,706名（対前年△214名）と大幅減となりました。平成28年度は大磯地区の待機児童が解消され、一時保育への需要が減少したことが理由でございます。

尚、過度な虐待のケースも1件報告されており、児童相談所、法人の顧問弁護士に相談しながら対応し、大きな事故に繋がることなく適正に対処させていただきました。

事業活動による収支では、事業活動収入151,212千円（前年比△5.8%）、事業活動支出127,164千円（前年比△4.3%）、事業活動収支差額23,747千円（前年比△14.1%）となりました。

⑮ サンキッズ国府学童保育（放課後児童健全育成事業）

平成27年度より大磯町より民間移管先として引き継ぎましたサンキッズ国府学童保育は、民間法人の柔軟な受け入れ態勢を活かし平成28年度の年間平均在籍児童数は78.1名と前年76.9名（対前年+1.2名）に対し児童が増え、児童、保護者、及び大磯町からも評価をいただいております。また行政の「朝のこども居場所づくり」政策として大磯町より業務委託を受け、7時から8時15分までの保育を平成27年1月より実施し、平成29年度も継続して続けております。

事業活動による収支では、事業活動収入18,451千円（前年比△+7.7%）、事業活動支出13,646千円（前年比+9.9%）、事業活動収支差額4,804千円（前年比+1.7%）となりました。

⑯ 認可保育園サン・キッズ平塚ステーション（保育運営事業）

平成28年度は、年間平均在籍園児は106.5名（対前年△3.8名）となりましたが、定員枠を超える園児数となっております。また、特別保育事業として実施する一時保育は延べ1,805名（対前年+25名）となりました。駅に隣接する保育園として待機を希望される非常に園児が多く、JRに子会社の事務所となっている部屋を保育園として活用できないか引き続き交渉して参ります。

事業活動による収支では、事業活動収入158,140千円（前年比+15.2%）、事業活動支出111,974千円（前年比△6.5%）、事業活動収支差額46,166千円（前年比+264%）となりました。

⑰ 認可保育園サンキッズ金田ほいくえん（保育運営事業）

開園初年度の平成 28 年度は、年間平均在籍園児は 138.5 名となりました。また、特別保育事業として実施する一時保育（休日保育含む）は延べ 457 名となりました。1 年間の活動が評価を受け、開園当初は定員の 130 名を割る 124 名の園児でスタートいたしましたが、年度末では 142 名まで園児が増え、2 年目の平成 29 年 5 月の時点で 155 名の園児にご利用をいただいております。

事業活動による収支では、事業活動収入 166,602 千円、事業活動支出 129,853 千円、事業活動収支差額 36,749 千円となりました。

（イ） 収益事業

福祉用具貸与事業

福祉用具貸与事業では法人内居宅事業所との連携が効果に表れ、延べ利用人数 2,767 名（対前年+337 名）となりました。

事業活動による収支では事業活動収入 36,684 千円（前年比+6.4%）、事業活動支出 33,428 千円（前年比+13.5%）、事業活動収支差額 3,256 千円（前年比△34.9%）となりました。